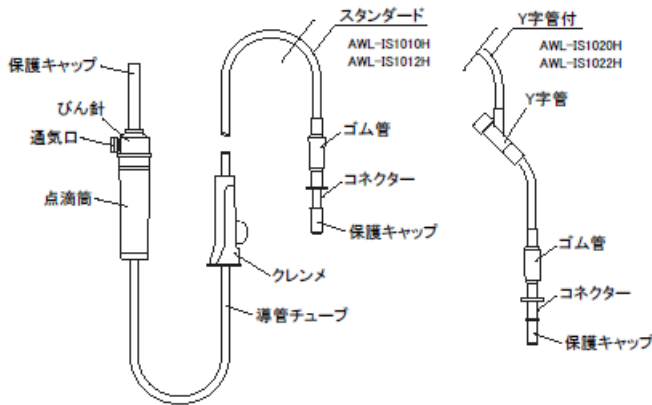


機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 自然落下式針なし輸液セット 70370000
輸液セット 2WAY

再使用禁止

【禁忌・禁止】
◆再使用禁止。

【形状・構造及び原理等】
《構造図》



《材質》

部品名	組 成
点滴筒	本体:ポリ塩化ビニル びん針:ABS 通気口:ポリプロピレン
クレンメ	カバー:ポリエチレン ローラー:ABS
導管チューブ	ポリ塩化ビニル
ゴム管	イソプレンゴム
コネクター	ABS
Y字管	本体:ポリ塩化ビニル ゴムキャップ:イソプレンゴム

※本品はポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用している。

《種類》

モデル No.	滴数 (≒1mL)	備 考
AWL-IS1010	20 滴	2 ウェイプラスチックびん針付、ゴム管付、全長 160cm
AWL-IS1012	20 滴	2 ウェイプラスチックびん針付、ゴム管付、全長 125cm
AWL-IS1020	20 滴	2 ウェイプラスチックびん針付、ゴム管付、Y字管付、全長 160cm
AWL-IS1022	20 滴	2 ウェイプラスチックびん針付、ゴム管付、Y字管付、全長 125cm

※滴数は個包装に記載。
※タコ管なし、エア針なし、静脈針なし

【使用目的又は効果】

注射筒を使用しないで、多量の注射用医薬品を注入する目的で使用され、能動型機器を用いることなく、重力により患者へ輸液を供給する器具である。
先端に針や翼状針などを接続して使用する。

◇本品は滅菌済みであり、そのまま直ちに使用できる。

【使用方法等】

1. 本品の通気口が開いていることを確認する。ソフトバッグタイプの輸液容器の場合は、通気口は閉じておきます。
2. 本品のクレンメを点滴筒内の真下に移動し、完全に閉じます。
3. 輸液容器の排出口を上にして、びん針の保護キャップをはずし、輸液容器のゴム栓にびん針を垂直にいったいの深さまで突き刺します。
4. 本品を接続した輸液容器を吊るし、点滴筒を指で軽く押しつぶして離し、点滴筒の半分程度まで薬液を入れます。
5. 流量調節器(クレンメローラー)を緩めて輸液セット内のプライミングを行います。また、静脈針等を接続する場合は確実に接続してからプライミングを行います。プライミングを行った後は、チューブ内の空気が完全に抜けてから、流量調節器(クレンメローラー)を完全に閉じます。
6. 静脈針等がしっかり接続されていることを確認してから、静脈針等のプロテクターをまっすぐ引いてはずし、血管に穿刺して固定します。
7. 流量調節器(クレンメローラー)を徐々に緩め、点滴状態を観察しながら輸液速度を調整してください。
点滴量 : 20 滴≒1ml (1 滴≒0.050ml)
※個包装に表示された滴数を確認してください。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- ◇輸液容器がガラス製ボトル、半硬質プラスチックボトルのときは、通気口のキャップを開いて輸液すること。ソフトバッグ及び連結管を用いるときは、通気口のキャップを閉じて輸液すること。
- ◇輸液セットを接続する際、輸液ボトル内が陽圧になっていると空気が入りやすくなるので注意すること。
- ◇本品先端のコネクターに、適当な静脈針等を接続してから使用すること。
- ◇びん針はゴム栓にゆっくり、まっすぐ刺通すること。また、同一箇所を繰り返し刺通しないこと。〔輸液セット内にゴム片が混入するおそれがある。〕
- ◇びん針をゴム栓に対して斜めに刺したり、刺通中に横方向の力を加えないこと。〔びん針が曲がったり、破損するおそれがある。〕
- ◇薬液は室温になじませてから使用すること。
- ◇点滴筒内が泡立つようなプライミング操作は行わないこと。
- ◇併用する医薬品及び医療機器の添付文書に指定がない場合は、点滴筒の半分程度まで薬液を溜めて、液面の低下に注意すること。〔滴たす量が少なくない、滴下したときに空気が混入し易くなる〕
- ◇プライミング後、点滴筒を横にしたり傾けたりしないこと。また、輸液容器を差し替える際や輸液中に、点滴筒内を空にしないこと。〔チューブ内に空気が混入すると、薬液が流れにくくなるおそれがある。〕
- ◇プライミング後は直ちに薬液を投与すること。
- ◇接続部に薬液が付着すると接続部に緩み等が生じることがあるので注意すること。
- ◇コネクターに静脈針を接続する場合は、静脈針を接続してからエア抜きを行うこと。
- ◇静脈針の針部に、直接手を触れないこと。〔針刺し、感染のおそれがある。〕
- ◇静脈針の針先にプロテクター等を接触させないこと。〔針先が曲がったり破損するおそれがある。〕
- ◇輸液開始時は、輸液状態(点滴の落下状態、点滴筒内の液面の高さ、輸液の減り具合)や穿刺部位を必ず確認すること。また、輸液中も、同様の確認を定期的に行うこと。
- ◇クレンメを閉じる際は、チューブが確実に閉塞したことを確認すること。
- ◇薬液によって、1 滴あたりの容積が異なる可能性があるので注意すること。

《混注操作に関連する使用上の注意》

- ◇混注操作をする場合は、混注ゴムに穿刺針を垂直にして穿刺すること。
- ◇Y字管から混注を行う場合は、混注する薬液の性質を考慮し、必要な場合は混注の前後に生理食塩水等でフラッシュを行う等の適切な処置を行うこと。〔Y字管は輸液剤の流路から横に分岐した構造になっているため、薬液の一部が残存するおそれがある。〕

【使用上の注意】

《重要な基本的注意》

- ◇包装が破損しているものや汚れているもの、製品に破損等の異常が認められるものは使用しないこと。
 - ◇本品は開封後すぐに使用し、使用後は感染防止に留意して安全な方法で処分すること。
 - ◇併用する医薬品及び医療機器の添付文書又は取扱説明書を必ず読み、その指示に従って使用すること。
 - ◇あらかじめ、接続部に緩みや外れ、液漏れ等がないことを確認してから使用すること。使用中は、定期的に緩みや外れ、液漏れがないことを確認すること。
 - ◇本品の接続に際しては、過度の締め付け等に注意すること。〔接続部が破損するおそれがある。〕
 - ◇チューブを鉗子等でつまんだり、はさみや刃物等で傷をつけないこと。〔液漏れ、空気の混入、チューブ破断が生じる可能性がある。〕
 - ◇チューブと他の部品との接続部でクレンメを操作しないこと。〔チューブがクレンメに噛み込まれて破損するおそれがある。〕
 - ◇チューブやチューブとの接続部を過度に引っ張ったり、過度に力を加えたりしないこと。〔チューブや接続部が、破損したり外れたりするおそれがある。〕
- ※脂溶性の医薬品等では、ポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが溶出するおそれがあるので注意すること。

《相互作用》

本品は自然落下式輸液セットであり、輸液ポンプには使用できません。

【保管方法及び有効期間等】

- ◇保管方法
水濡れに注意し、直射日光および高温・多湿を避けて保管すること。
- ◇有効期間
包装に表示
滅菌後 5 年(自己認証による)。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

株式会社エスイーエム
岐阜県多治見市明和町5丁目60番地1
お問合せ先 : 0572-26-8093

■製造(輸入元)

ジャンシー・ホンダ・メディカル・エクイップメントグループ
リミテッド社
[Jiangxi Hongda Medical Equipment Group Ltd.]
中国
[China]